

2021年8月13日

大阪府なにわ北府税事務所

所長 西田 隆 様

大阪府職員労働組合府税支部なにわ北分

分会長 松浦 宏



## 要 求 書

大阪府なにわ北府税事務所に働く全ての職員の労働条件の向上と健康で働きやすい職場環境を確保するとともに、府民の権利を守り、府民サービス向上のため、下記のことを速やかに実現することを要求する。

### 記

1. 大阪府職員労働組合府税支部なにわ北分会との労使慣行・労使間の確認事項は、従来どおり遵守すること。労働条件にかかわる業務の変更等については、事前に分会と協議し、協議が整わない場合は実施しないこと。
2. 労働組合の所属による不公平な取り扱いは一切行わないこと。また、労働組合に対する不当な介入、干渉は行わないこと。また、「定年引上げ」については、「雇用と年金の接続」と「職務給の原則に基づく賃金」を保障するよう、関係機関に働きかけること。
3. フレックスタイムについては、窓口業務に従事する府税関係職場に導入しないよう関係機関に働きかけること。
4. 大阪府当局が、過去に行った不当な給与引き下げを改め、給与・一時金を正常な状態に戻すため、抜本的に水準を引き上げるよう、関係機関に働きかけること。
5. 府税事務所に勤務するすべての職員に対し、税務職俸給表の適用、もしくは調整額の支給を行うよう、関係機関に働きかけること。
6. 労働条件を悪化させ、評価者を含む圧倒的多数の職員が資質の向上につながらないとする「相対

評価」は撤回すべきであり、「新人事評価制度」による賃金リンクを撤回するよう、関係機関に働きかけること。とりわけ、今年度も新型コロナウイルス対応により全職場が混乱している状況下では、評価そのものを中止すべきであり、賃金リンクについてはおこなわないこと。

7. 非常勤職員の雇用の継続や労働条件の改善を行うよう、関係機関に働きかけること。
8. 時差勤務を廃止し、勤務時間を拘束8時間とするよう、関係機関に働きかけること。併せて、年次・夏期休暇を従前の取得方法に戻すとともに、一方的に廃止した休息時間を元にもどし、昼休みの休憩時間を1時間にするよう、関係機関に働きかけること。
9. 「副主査」選考については、府税業務に必要な研修の参加を反映させるなど、対象者の負担を軽減すること。職務経験や専門性を発揮し、民主的・安定的な行政運営を行うためにも、誰もが行政職4級の水準に到達できるよう、賃金体系の改善を行うこと。
10. 「税収確保対策」等による労働強化・管理強化は行わないこと。また、「税収確保重点月間」等を理由とした時間外勤務の強要を行わないこと。超過勤務を縮減し、府民サービスの向上と労働条件確保のため、人員確保をはじめとする適切な措置を講じること。  
また、上意下達でおろされる新型コロナ対策に係る人的支援については、応援対応ではなく増員で対応すること。
11. 先般の大阪府北部地震、豪雨における参集実態の教訓を踏まえ、職員の安全確保の観点から、参集方法や参集場所等、効果的かつ合理的な災害対策と職員の参集時の危機回避のための改善方策を、職員の意見を踏まえて検討すること。
12. 職員の長時間勤務解消や過重労働防止等、実質的な労働時間の短縮を図る観点から、人事異動などにおいて本人の希望を尊重するなど、適切に対応すること。
13. 再任用職員の労働条件等を改善すること。また、この間の給与・一時金の削減を復元するとともに、増額を行うよう関係機関に働きかけること。
14. VDT 作業における職員の健康管理体制の充実と作業環境の整備を行うこと。また、VDT 特別健康診断の充実と全員受診体制を確立するよう、関係機関に働きかけること。
15. 円滑な業務の執行と職場環境改善へ以下のことを実現すること。

- ① 冷暖房の期間の弾力的運用を行うこと。また、始業から終業まで温度維持ができるよう運転すること。また、各階調整が行えるよう改善すること。特に夏季において、執務室全体の室温が28℃となるようにすること。
- ② 床面のOAケーブル配線等の盛り上りを解消すること。
- ③ 職員の安全衛生の観点から、執務室内外の壁面・天井の塗り替えをおこなうこと。
- ④ 1階トイレを男女別にするなど抜本的改築をすること。
- ⑤ 職員の安全衛生の観点から、和室の畳替えなど休憩・休養室として利用可能な改善をすること。
- ⑥ 職員の自己負担やプライバシー保護に影響するため、業務に使用する携帯電話を整備すること。